

Daily Report (号外)

～9月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が10月2日に発表した9月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+2.9万人と市場予想(同+9.0万人)を下回る結果となりました。

業種別では、娯楽・宿泊業が同+1.0万人(前月:同+3.7万人)、教育・ヘルスケア業が同+2.0万人(前月:同+3.8万人)、製造業は同+0.9万人(前月:同+1.5万人)と、幅広い業種で伸びが鈍化しました。

失業率は4.2%と市場予想(4.1%)を上回り、前月(4.1%)から上昇しました。

労働参加率は61.8%と市場予想(61.6%)を上回り、前月(61.6%)から上昇しました。

市場反応(10月2日の米国市場)

米国株式市場は、米国雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を下回ったほか、8月発表分が下方修正されたことから、10月FOMCでの追加利上げ観測が後退し、金融引き締めへの警戒感が和らぐなかで、投資家のリスク選好姿勢が強まったことから、NYダウ平均株価は前日比+0.49%、S&P500指数は同+0.73%、ナスダック総合指数は同+1.19%となりました。

米国債券市場では、軟調な米国雇用統計の結果から利上げ観測が後退したものの、米長期金利の先高観や需給悪化への根強い懸念から、10年債利回りは前日比+0.03%の5.27%程度で引けました。

米ドル／円は、軟調な米雇用統計の結果を受けて、FRBが利上げを急がないとの観測が広がり、円買い・ドル売りが優勢となり、前日比24銭円高・ドル安の157円85銭程度となりました。



(期間)2025/1/1～2026/10/2 (出所)Bloomberg

評価及び今後の見通し

9月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が予想を大幅に下回り、雇用の伸びが鈍化しました。労働参加率は上昇したものの、平均時給は前月から低下、失業率は小幅に上昇し、労働市場の軟化を示す結果となりました。

金利先物市場では、9月下旬から10月上旬にかけて一部のFRB高官が利上げを急がない姿勢を示したことを受け、10月会合での利上げ期待は30%を下回る水準となっていました。こうした中、今回の軟調な雇用統計を受けて、FRBが政策金利を据え置くとの見方が一段と強まっています。雇用市場の減速や賃金上昇率の鈍化が確認されたことから、労働市場を通じたインフレ圧力への警戒感は後退しており、市場では物価関連指標の動向を見極めながら今後の金融政策の方向性を探る展開が続くと見られています。

今後の米国株式市場は、短期的には10月14日発表の米消費者物価指数、10月15日発表の米小売売上高など、インフレや消費の動向を測る主要指標の発表に注目が集まると見込まれます。

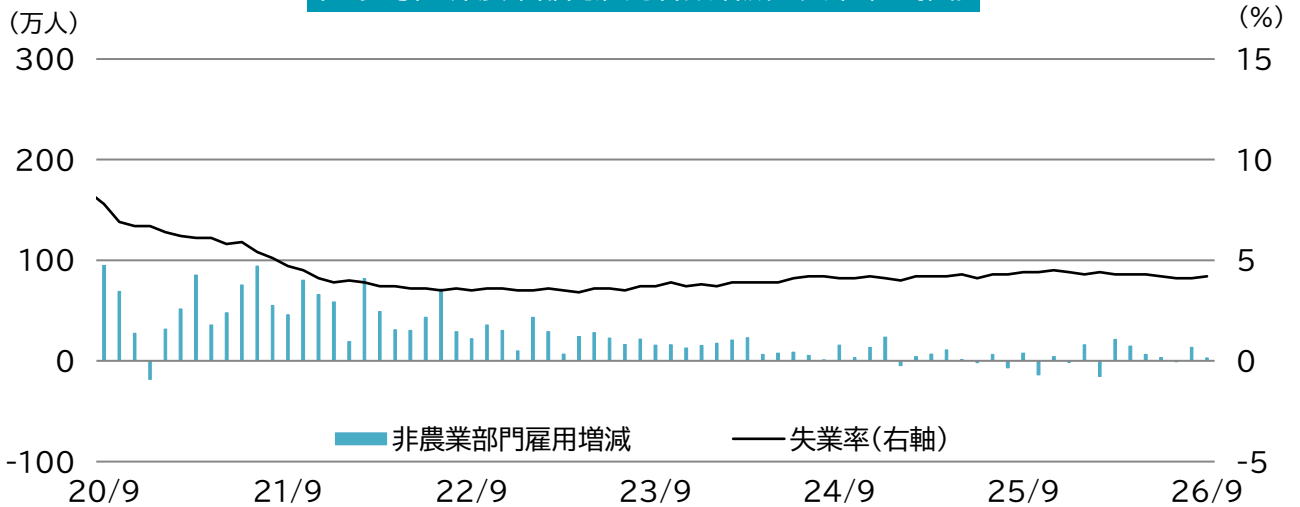
今回の雇用統計は、労働市場の減速と雇用面からのインフレ圧力の緩和を示す内容となりました。ただし、今後の米金融政策や市場の方向性は、今後発表される経済指標に左右されるとみられ、当面はボラティリティの高い展開が継続すると見えています。

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8	26/9
非農業部門	+14.8	+6.3	+3.1	-1.0	+13.3	+2.9
鉱工業部門	+0.6	+0.3	+1.4	+3.5	+3.4	+1.8
建設業	+0.3	+0.2	+0.3	+1.8	+1.6	+1.1
製造業	-0.1	-0.2	+1.3	+2.0	+1.5	+0.9
資源・鉱業	+0.4	+0.3	-0.2	-0.3	+0.3	-0.2
サービス部門	+14.4	+5.8	+1.2	-0.7	+5.5	+2.8
卸売業	+0.1	+0.3	+0.5	+0.6	+0.8	+0.5
小売業	+2.4	+0.5	+1.0	+0.6	-0.5	+0.6
輸送・倉庫業	+3.9	+0.1	-1.0	+1.0	+0.3	+0.8
情報	-0.6	-0.5	-1.9	+0.4	-1.8	-1.0
金融	-0.6	-2.0	+0.2	-1.0	-0.9	-0.7
専門・ビジネスサービス業	+2.0	+0.6	+3.6	-0.6	-0.5	-0.9
人材派遣業	+1.1	+0.0	+1.7	-1.0	+0.0	-1.1
教育・ヘルスケア業	+6.7	+2.4	+5.0	+1.4	+3.8	+2.0
娯楽・宿泊業	-0.7	+4.2	-5.4	-3.8	+3.7	+1.0
その他	+0.2	+0.2	-2.4	+1.7	+0.6	+1.7
政府部門	-0.2	+0.2	+0.5	-3.8	+4.4	-1.7
失業率(%)	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.2
平均時給(前年同月比、%)	3.6	3.3	3.4	3.2	3.1	3.0

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2020年9月~2026年9月 (出所)Bloomberg